

【西区】令和3年第3回区づくり推進横浜市議員会議

令和3年9月7日(火) 15時開始
西区役所及び外部2か所(Web会議)

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和2年度 個性ある区づくり推進費決算状況
- (2) 令和3年度 個性ある区づくり推進費に係る事業見直し
- (3) 令和3年度 西区主要事業の進捗状況等
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」
(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 地域連携交流事業
 - ウ 地域活動支援の強化
(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業)
 - エ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - カ 健康づくり応援事業
 - キ 子育て支援の推進
(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)
 - ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業
 - ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - コ 西区民まつり
 - サ ふるさと西区魅力発信事業
 - シ スポーツ振興等事業
 - ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
 - セ 広報充実事業
 - ソ 西区環境行動推進事業
 - タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - チ 交通安全事業
 - ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業
 - テ 食中毒・感染症予防対策事業
 - ト 地域防災活動推進事業
- (4) 令和4年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)
- (5) 西区における開発動向等
- (6) 新型コロナウイルスワクチンの接種計画等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和2年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差引	執行率
自主企画事業費	98,927,000	94,127,458	4,799,542	95.1%
統合事務事業費	36,183,000	30,753,779	5,429,221	85.0%
区庁舎・区民利用施設管理費	449,779,000	450,582,519	▲803,519	100.2%
合計	584,889,000	575,463,756	9,425,244	98.4%

2 重点事業（自主企画事業費）

1 地域のつながりづくり		6,637,258円
主な事業	事業内容	事業実績
「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の普及啓発、第4期計画の策定スケジュールの見直し	・区全体計画策定検討会の開催(8、11月) ・地区懇談会の開催に伴うアドバイザー派遣及び記録補助(計6回)
西区ふれあい福祉推進事業	ひとり暮らし高齢者等の見守り・訪問などを行う町内会単位の「ふれあい会」の活動を支援	・「ふれあい会」の活動支援、助成金交付 ・「ふれあい会」団体数：52、担い手：524人、助成金対象世帯数：1,113世帯
2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり		17,505,082円
主な事業	事業内容	事業実績
高齢者あんしん生活サポート事業	認知症サポーター養成講座の開催、ころばんよ体操による介護予防普及啓発、在宅療養ガイド作成	・区民参加型の介護普及啓発の実施・膝痛予防講演会(9月) ※録画を配信 ・ころばんよ体操関連事業の実施 バタカラバージョンの講座実施(12月)、ゆつくりバージョンの作成検討(通年)
障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業	障害理解啓発事業の開催、医療的ケア障害児者への災害対策、障害者生活体験事業の実施	・障害理解促進のための啓発事業 「ふれあい作品展」(12月、参加者248人) ・医療的ケア障害児者 「災害対策ファイル」作成支援(通年) ・障害者生活体験事業(8、1月、体験見学69人)
3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり		16,417,283円
主な事業	事業内容	事業実績
地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	三菱ドック踏切通路環境改善の実施、区内在勤者向け情報発信およびアンケートの実施	・三菱ドック踏切通路環境改善 ・在勤者向け情報発信リーフレット発行(2回、各5,000部) ・在勤者アンケート実施(8～12月、回答152件)
商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	コロナにまけるな！西区元気プロジェクト2020、商店街スタンプラリー等の実施、各種広報の充実	・西区商店街スタンプラリーの実施(11月) ・西区元気プロジェクトの実施(11～12月) ・サイクルマップ発行(11月発行、10,000部)
西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	公園の花壇や藤の花の再生への取組みを通じて、地域のつながりやにぎわいを形成する場を提供	・公園愛護会等との花植え活動(年1回、区内12公園、参加者130人) ・藤の管理作業講習会の開催 区内施設管理者向け(年2回、参加者40人)・区内在住者向け (2月、参加者7人)
4 安全・安心なまちづくり		30,388,795円
主な事業	事業内容	事業実績
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、感染症対策を含めた区本部の防災機能強化、自助・共助の推進	・地域防災拠点及び避難所の感染症対策強化 ・木造住宅密集地域における減災対策の推進 ・区民への防災・減災の普及啓発
西区環境行動推進事業	にしくecoチャレンジの実施、SDGsパネル展の開催、公共施設等への緑のカーテン設置や花植え	・にしくecoチャレンジの実施(11～1月、パートナー企業18社、参加者248人) ・SDGsパネル展開催(4会場、参加者1,219人)・ボランティアによる花植え(2回、7か所)
安心して暮らせるまちづくり推進事業	地域、行政、関係団体と連携した防犯啓発活動、防犯メール等での情報提供など地域防犯力を強化	・広報よこはま西区版コラム記事掲載(年2回)・西区元気プロジェクトでの啓発物品配布 ・民間警備会社へのパトロール委託(週1回)・防犯メールによる情報発信(随時)
5 親しみやすい区役所づくり		23,179,040円
主な事業	事業内容	事業実績
区総合庁舎等環境整備事業	安全・安心・快適に利用できる区庁舎等を目指し、消毒業務や空気環境改善等の感染症対策を実施	・空気環境改善に係る居室改修、換気扇設置・感染症対策用物品の購入、区庁舎消毒業務委託 ・Web会議環境整備用品の購入・会議室個別空調新設及び音響設備改修
サービス改善推進事業	職員への窓口対応向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供	・庁内講師や外部講師によるCS向上等を目指した応対マナーに関する研修等を実施(計4回) ・CS、ES向上のための区役所の環境整備(翻訳用PC、Web会議環境整備用品の購入)を実施 ・フロア窓口案内員の雇用
合計 (自主企画事業費決算額)		94,127,458円

令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費） 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	4,368,000	748,295	3,619,705	17.13% ※1
2	西区ふれあい福祉推進事業	3,289,000	3,799,937	▲510,937	115.53%
3	地域活動事業	2,900,000	2,089,026	810,974	72.04%
小計		10,557,000	6,637,258	3,919,742	62.87%

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	高齢者あんしん生活サポート事業	3,058,000	3,123,579	▲65,579	102.14%
2	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	3,788,000	3,481,883	306,117	91.92%
3	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,568,000	1,076,340	491,660	68.64%
4	区役所キッズスペース運営事業	4,673,000	4,124,459	548,541	88.26%
5	地域子育てサロン運営支援事業	336,000	229,985	106,015	68.45%
6	西区で子育て学び隊事業	2,979,000	2,167,710	811,290	72.77%
7	西区の保育施設つながり事業	639,000	703,333	▲64,333	110.07%
8	女性と子どものための相談支援強化事業	680,000	450,549	229,451	66.26%
9	家計のやりくり応援事業	639,000	161,150	477,850	25.22%
10	健康づくり応援事業	1,777,000	746,641	1,030,359	42.02% ※2
11	読書活動推進事業	1,902,000	1,239,453	662,547	65.17%
小計		22,039,000	17,505,082	4,533,918	79.43%

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	4,400,000	2,615,967	1,784,033	59.45% ※3
2	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	4,967,000	5,774,165	▲807,165	116.25%
3	西区民まつり	5,700,000	0	5,700,000	0.00% ※4
4	ふるさと西区魅力発信事業	4,110,000	340,646	3,769,354	8.29% ※5
5	地域文化振興事業	1,166,000	500,000	666,000	42.88%
6	スポーツ振興等事業	4,475,000	2,935,000	1,540,000	65.59% ※6
7	広報充実事業	2,342,000	2,537,764	▲195,764	108.36%
8	西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,053,000	1,713,741	339,259	83.47%
小計		29,213,000	16,417,283	12,795,717	56.20%

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	地域防災活動推進事業	12,773,000	13,849,197	▲1,076,197	108.43% ※7
2	放置自転車対策事業	4,103,000	3,685,472	417,528	89.82%
3	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,319,000	3,077,685	▲758,685	132.72%
4	交通安全事業	2,424,000	1,930,817	493,183	79.65%
5	安心して暮らせるまちづくり推進事業	2,011,000	1,072,143	938,857	53.31%
6	西区環境行動推進事業	2,908,000	5,718,127	▲2,810,127	196.63% ※8
7	食中毒・感染症予防対策事業	1,074,000	1,055,354	18,646	98.26%
小計		27,612,000	30,388,795	▲2,776,795	110.06%

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	区総合庁舎等環境整備事業	6,111,000	20,647,815	▲14,536,815	337.88% ※9
2	サービス改善推進事業	812,000	825,323	▲13,323	101.64%
3	人権啓発推進事業	316,000	44,000	272,000	13.92%
4	統計便覧作成事業	600,000	486,640	113,360	81.11%
5	区民生活マップ作成事業	1,257,000	842,460	414,540	67.02%
6	区政推進運営事業	410,000	332,802	77,198	81.17%
小計		9,506,000	23,179,040	▲13,673,040	243.84%

(単位：円)

総合計	予算額	決算額	差引	執行率
	98,927,000	94,127,458	4,799,542	95.15%

主な増減理由（100万円以上の増減があるもの）	
※1	新型コロナウイルス感染症により、第4期地区別計画の策定に係る地区懇談会等が開催できなかったことによる減
※2	新型コロナウイルス感染症により、健康づくり応援イベント、食育推進会議等を中止したことによる減
※3	新型コロナウイルス感染症により、来街者の動向を捉えた事業実施手法の見直しや規模縮小を行ったことによる減
※4	新型コロナウイルス感染症により、西区民まつりが中止となったことによる減
※5	新型コロナウイルス感染症により、虫の音を聞く会、横浜かもんやま能等が中止となったことによる減
※6	新型コロナウイルス感染症により、多くのスポーツ関連イベントが中止となったことによる減
※7	西区災害対策本部、西区地域防災拠点等の感染症対策物品を調達したことによる増
※8	SDGsパネル展の開催に伴う会場経費等の増
※9	感染症対策物品及びWEB会議用物品等の調達に伴う増

3-(2) 令和3年度 個性ある区づくり推進費に係る事業見直し

新型コロナウイルス感染症による事業への影響を把握し、効率的かつ効果的に事業を実施するため、全ての自主企画事業を対象に事業点検を実施しました。

また、見直しの結果、削減した事業費については、新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等に活用します。

(単位：千円)

自主企画事業費総額	99,090
見直し金額	▲ 8,446
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	5,900

主な見直し内容

▲ 8,446

新型コロナによる事業の中止、縮小等

- ・西区民まつりの中止 ▲ 6,007
- ・英語版ガイド情報誌の増刷中止 ▲ 1,800
- ・にこまちプランの策定事業の中止、縮小 ▲ 254
- ・オリンピック・パラリンピック啓発事業の縮小 ▲ 200
- ・ふれあい会の団体数拡充の先送り ▲ 185

見直し額を活用した新たな取組

5,900

「にしくスタイル」事業

1,500

- ・コロナ禍により地域活動がままならない状況を踏まえ、西区役所前に特設ブースを設置し、地域団体の活動紹介や物販など、地域活動の発表の場を創出
詳細 ⇒ [ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 (2)-③]

「にしくキッチン」事業

2,000

- ・コロナ禍の飲食店を支援するとともに、西区内の飲食店が提供する弁当・総菜等を区役所前広場で販売。また、経済局の「地域経済活性化事業」との連携を検討
詳細 ⇒ [ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 (2)-④]

ふるさと西区魅力発信情報誌の作成

800

- ・「西区虫の音を聞く会」、「横浜かもんやま能」及び「西区キャンドルアート」並びに「滋賀県彦根市との友好交流事業」等の内容を統合した情報誌の発行
詳細 ⇒ [サ ふるさと西区魅力発信事業 (5)]

地域活動支援の強化の拡充

1,500

- ・区連会定例会等のリモート開催のための貸出用リモート会議専用機器の調達、区民利用施設のリモート会議環境の整備
詳細 ⇒ [ウ 地域活動支援の強化 (1)-②、(2)-②]

西区YouTubeチャンネルの開設

100

- ・講習会、講演会等のライブ配信のための必要機材の整備
詳細 ⇒ [セ 広報充実事業 (2)]

3-(3) 令和3年度 西区主要事業の進捗状況等

※1：下線部は、前回（第2回）市議員会議後の変更点等です。
※2：★が付いている事業は、現年度事業見直しの対象事業です。

地域のつながりづくり

★ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画）の推進
（福祉保健課）
【予算額 3,096千円（対前年度比 1,272千円減）】
【見直し額 ▲254千円】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン）を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により進捗が滞っている第4期計画の策定を、地域の皆さまや関係機関とも連携し、感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。併せて地域活動や福祉保健に関心を持っていただけるよう意識醸成にも取り組みます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等（3,096千円）

① 福祉保健計画の推進

地域活動の参考となる内容の講座を様々な世代を対象に実施します。区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に区で実施する事業の情報提供や地域とのつながりを深めていく機運を高めるための取組を継続実施します。

活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地域による取組の発表を中心にした、「にこまちフォーラム」を開催します。



にこまちフォーラム

② 広報・啓発

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、子どもたちが地域とつながりや地域における自分の役割などについて考える機会を創出します。



こども向け啓発

③ 第4期計画の策定

福祉保健の分野に精通したアドバイザーの助言を踏まえ、また、「推進評価委員会」などで各分野の代表からの意見も伺いながら進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が依然として続いていることから、地区別計画の策定状況等を踏まえ、一部のスケジュールを変更しました。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、各地区の状況等も踏まえながら状況の変化に合わせて柔軟に策定作業を進めます。



推進・評価委員会

【第4期計画策定のスケジュール】

時期	実施事項	実施内容
令和元年12月	推進・評価委員会	第3期計画の振り返り 第4期計画の策定に向けた意見交換等
令和2年3月	策定検討会 (対面開催は中止)	計画の理念や考え方、 骨子などを書面にて確認
令和2年8月	策定検討会 (第1回)	素案(大枠)の検討
令和2年11月	策定検討会 (第2回)	素案の検討
令和3年8月	推進・評価委員会 (書面開催)	素案の確定
10～11月	区民意見募集	素案に対する区民からの意見を公募
12月～ 令和4年1月	推進・評価委員会	計画案の確定
12月～	冊子の作成	冊子やリーフレットの作成
令和4年2月	啓発	にこまちフォーラムの開催
4月	計画の開始	

イ 地域連携交流事業【新規】

(区政推進課)

【予算額 600千円】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域づくり大学校の修了生に対して財政支援を行います。

また、みなとみらいにキャンパスを開設する神奈川大学との連携強化を図ります。

(1) 西区地域づくり大学校修了生支援補助金 (300千円)

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向けて負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

■参考：西区地域づくり大学校修了生支援補助金
開始時期：令和3年4月
交付条件：西区地域づくり大学校修了生又は同修了生を含む活動団体
補助額等：限度額5万円/件、最長3年間、必要経費の90%
予算：300(千円)(内訳：5万円/件、6件)
主な用途：地域活動に必要な会場借り上げ費、印刷費などの経費

(2) 神奈川大学との地域連携交流事業 (300千円)

令和3年4月に神奈川大学みなとみらいキャンパスが開設されたことにもない、相互の連携促進を図るため定例的な会合を通じて、多文化共生や地域プロモーション、SDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めます。



地域交流促進の場となることが期待される
神奈川大学みなとみらいキャンパス 1F ラウンジ・ラボ

★ウ 地域活動支援の強化

(地域振興課)

(地域活動事業、区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業【新規】)

【予算額 4,569千円 (対前年度比 1,669千円増)】

【見直し額 +1,500千円】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域の団体等の会議や打合せが相次いで中止となり、その結果、顔の見える関係づくりや情報伝達が滞る等の課題が見つかりました。

コロナ禍の中にあっても地域の絆を繋ぐため、自治会町内会向けICTを活用した会議開催に向けての支援及び区民利用施設にてICTツールの利用を促進する事業を実施します。

(1) 地域活動事業 (4,089千円) + (見直し額 500千円)

① 自治会町内会ICT支援 (1,288千円)

各地区単位にICTへの理解を広めることを目的として、講師派遣による講習会を実施します。講習会については、区民利用施設を活用し各地区2回以上実施を予定しています。

今後は、区連会定例会をはじめ、地域や団体、サークル活動や会議で来館した利用者にICTツールを利用する場の提供が継続できるよう、区民利用施設と連携し、支援していきます。

■参考：講習会について（予定）

スケジュール：令和3年10月～令和4年1月の間に各地区2回以上実施。

会場：通信設備（オフィスWi-Fi）を設置した各地区の区民利用施設を活用。

内容：リモート会議とは（導入編）、Zoom体験（活用編）
（区連会出席者（各地区連合の正・副会長）が自身でリモート会議を行うことができることを目的とします。）



講習会イメージ(市民局応援事業)
(戸部コミュニティハウス・令和3年5月12日)

② リモート会議専用機の貸出 (見直し額 500千円)

各地区の講師派遣による講習会が修了次第、煩雑な操作をすることなく、ワンタッチでリモート会議に参加できるリモート会議専用機を使用して、区連会定例会のリモート会議を開催します。

③ 自治会町内会等が実施する地域活動の支援 (2,801千円)

自治会町内会長感謝会の開催、自治会町内会依頼業務負担軽減業務（広報物等の運送）、防災情報付広報掲示板整備補助事業（防災情報の共有促進）

■参考

ア 自治会町内会長感謝会の開催

令和4年3月開催予定（令和3年8月末時点）。

令和2年度は開催中止。

イ 防災情報付広報掲示板整備補助事業

各自治会町内会からの申請（9件）をもとに8月中をめどに補助対象を選定。

【過去の実績】元年度：12件、2年度：14件

(2) 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業（480千円）【新規】
 +（見直し額 1,000千円）

① 通信設備機器（オフィスWi-Fi等）の設置

地域に根ざした区民利用施設においてICTツールの利用促進を行うことで、これまで手順等の煩雑さ等から利用してこなかった区民においてもICTをより身近に感じることができ、利用の普及に繋がっていくことを目的として、設置対象となる区民利用施設に対し通信設備機器（オフィスWi-Fi等）を設置します。

② リモート会議専用機の設置（見直し額 1,000千円）

ワンタッチでリモート会議に参加できるリモート会議専用機及び大型モニター等の設置支援を行います。（10月）

また、施設職員にICTツールの理解度を高める講習会を実施し、利用者への支援体制を整えます。（10月～翌1月）

■設置対象となる施設（11 施設）			
第一地区	戸部コミュニティハウス	第五地区	西地区センター
第二地区	西前小コミュニティハウス		平沼集会所
第三地区	藤棚地区センター	第六地区	浅間コミュニティハウス
	稲荷台小コミュニティハウス		軽井沢コミュニティハウス
第四地区	老人福祉センター横浜市野毛山荘	共通	区民利用施設協会事務局
	東小コミュニティハウス		



Wi-Fiアクセスポイント
（数十人規模）



Wi-Fiルーター
（数人規模）

エ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,268千円(対前年度比 210千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(971千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展や講演会を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(10月)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(区2回、包括4回)

③ 「地域で見守りガイドブック」の普及啓発

地域ケア会議で作成した「地域で見守りガイドブック」について、関係団体等を通じた配布や広報よこはま西区版への掲載(7月)により普及を図っています。

また、研修資料を映像化し、関係機関に配布するとともに、抜粋版をホームページに掲載しました。(8月)

令和2年度に作成した企業向けの「配達企業も地域で見守りガイド」についても協力企業への配布を進めています。



地域で見守りガイドブック

④ 支援者向け「連絡カード」の作成

緊急時のネットワーク構築に向け、支援者(主にケアマネジャー)が把握している要支援者に対して配布をしてもらうよう、これまで自治会町内会経由で配布を行ってきた「あんしんカード」をより細やかな内容に改訂します。

(2) 認知症等高齢者支援事業 (1,326千円)

① 認知症予防講演会の開催

認知症予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会(8月31日)について、緊急事態宣言中のため、録画した映像のYouTubeでの配信及びDVDでの配布とすることとしました。

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

③ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数158名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月21日28人、2月15日)

(3) 健康づくり・介護予防事業 (971千円)

① 西区ご当地体操「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

ころばんよ体操の効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防)にオーラルフレイル予防を加えた「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」の普及啓発と、地域における自主的活動の活性化に努めます。また、後期高齢者や障害者でも取り組みやすいバージョンを作成し、より多くの区民の方の健康づくりのため活用します。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施(健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数17名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を促進しています。(6月30日、7月5日 各21人)



げんき活動応援団

③ 介護予防に関するリーフレットの充実

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、屋外で活動している団体や健康遊具のある公園を記載した別冊を作成しました。(6月 2,000部)

コロナ禍で取り組める介護予防活動等を啓発します。



「お元気活動応援マップ 屋外編」
公園・屋外で活動中のグループ紹介

オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,119千円(対前年度比 331千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,321千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点運営委員会等の訓練の参加者に周知します。(10月～3月 4か所)

② 区民まつりでの啓発

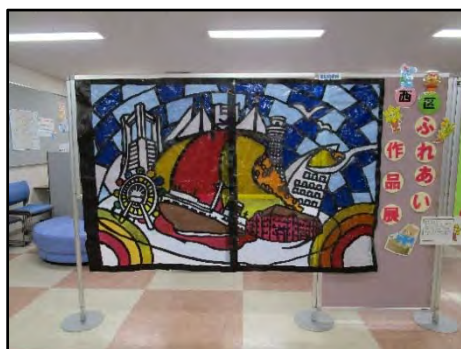
区民まつりにおいて、障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施する予定でしたが、区民まつりが中止となったため、広報誌等を活用した啓発を行います。(通年)

③ 西区ふれあい作品展

障害者週間に合わせて、西区域の個別支援学級に通う中学生や障害のある人たちの作品を展示します。(12月7日～9日 区役所、12月11日～19日 アニミ)

④ 西区版ヒューマンライブラリー

障害者や社会的マイノリティの方と少人数での対話を通じて相互理解を促す取組を10月と2月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していることから、時期及び内容を見直します。



ふれあい作品展の作品



ヒューマンライブラリーの様子

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策（315千円）

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進める取組を実施します。

① 災害時個別支援計画（「わたしの災害対策ファイル」）の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への周知と計画の作成勧奨をします。
（通年）

② ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施

災害時にガス式発電機をすぐに使えるように、福祉避難所と連携した稼働訓練を実施します。（2月 6か所）

③ 災害対策用品ニーズ調査・啓発事業

電源を要する医療機器を使用している方を対象に、非常用電源機器の貸出事業を開始しました。また、今後、当該機器を貸与した方を対象に、当該機器を用いた非常時を想定した訓練を実施します。（8月）

6月 要電源の医療的ケアを必要とする障害児・者等災害対策用蓄電池貸与
モデル事業実施要綱を制定

7月～8月 モデル事業対象者へ蓄電池を配付

(3) 障害者生活体験事業（483千円）

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が自立するためのステップとしてマンスリーマンションを活用するなどして生活体験を行う場を提供します。

より実際の一人暮らしに近い状態が体験できるよう、必要なヘルパーの派遣等を新たに実施します。（9月、1月）

人工呼吸器や吸引器を使用している人

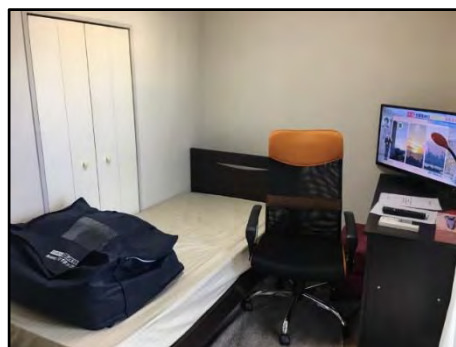
「わたしの災害対策ファイル」を作成しましょう

電源が必要な医療機器を使用している人に、必要な備えや発災時の対応を確認するためのファイルをお渡ししています。ファイルを活用し、日ごろから停電や災害時の避難に備えましょう。

災害対策ファイル 検索

配布場所 区役所2階22番窓口

問合せ 障害担当
☎320-8417 ☎290-3422



マンスリーマンションの部屋

広報よこはま 2020年8月号
「わたしの災害対策ファイル」について

カ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,850千円 (対前年度比 73千円増)】

市民の健康づくりの指針である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めるとともに、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供します。併せて、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します。

また、新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式の内容を含めた健康情報を発信します。

なお、各取組は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮した上で、関係団体と相談しながら実施方法を検討します。

(1) 健康づくり応援イベント (308千円)

高齢者を対象とした「歯と口の健康週間」事業において、歯科医師会と共催で歯科医師による講演会と歯科相談を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症等に係る新しい生活様式の内容をふくめた健康情報の展示・体験・相談等を行い、区民が健康について関心を高めるきっかけづくりを実施しました。(6月、参加者62人)



健康づくり応援イベント
歯科医師による講演会の様子

(2) パネル展等での情報発信 (555千円)

市民が多数来所する場(中央図書館等)で新型コロナウイルス感染症等の健康情報パネルを掲示することで、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。

(7月～9月、中央図書館)

また、西区ツイッターを利用し、時宜にかなった健康情報を配信します。

(3) 食育推進事業 (710千円)

会議の円滑な運営と関係団体間の情報共有の促進が図られるよう事務局として補助し、研修会や区内の食育推進活動事例を紹介するパネル展を実施します。(2月)

また、6月25日に西区食育推進会議を開催し、コロナ禍における食育の取組みについての情報交換等を行いました。

(4) 保健活動推進員等の活動支援 (277千円)

令和3年4月に新たに委嘱された保健活動推進員について、新型コロナウイルス感染症の状況に配慮しながら団体の活動を支援します。各地区計画を作成し、感染に気を付けながら活動中です。

キ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 3,360千円(対前年度比 299千円減)】

(1) 西区で子育て学び隊事業(2,670千円)

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を進めます。

① プレパパママクラス・よちよちパパママ育児教室

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち妊娠による身体の変化を学び、妊婦疑似体験などを行う講座について、平日に参加できない妊婦とパートナーが参加できるよう土曜日に開催します。



プレパパママクラス

また、初めてのお子さん(生後3～7か月)を持つ両親を対象に、父親の育児参加の啓発やふれあい遊びなどを学ぶ「よちよちパパママ育児教室」を土曜日に開催します。(両事業とも年6回)

※5月22日実施：プレパパママクラス17組参加、よちよちパパママ育児教室5組参加

7月24日実施：プレパパママクラス16組参加、よちよちパパママ育児教室7組参加

② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的とした「赤ちゃん教室」を区内の9か所で実施します。感染症拡大防止のため、令和2年10月からは月齢に応じた2部制で開催しています。(年10回×9会場)



赤ちゃん教室

③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、いのちの始まりや胎児の成長に関する講話、沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験などを通じて、育児や親の想いを知り、いのちの大切さを学ぶ「中学校いのちの教室」を実施します。

※申込数5校



中学校いのちの教室

④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育所等一覧による子育て情報の提供などを行います。

(2) 女性と子どものための相談支援強化事業(690千円)

子どもの発達の特性に気が付いていない保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズを受ける機会を設けます。

※臨床心理士による個別相談：4～8月実績 7回 40件実施

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

★ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 4,400千円(前年度同額)】

【見直し額 ▲1,000千円】

東京2020オリンピック・パラリンピックやガーデンネックレス横浜の開催に合わせて、来街者が増加する機会を捉え、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進します。

(1) イベント等を契機としたまちの回遊促進(2,000千円)

オリンピック・パラリンピック等の来街者が増加する機会を契機に、ガイド情報誌やまち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。

① ガイド情報誌(日本語版・英語版)の配布

ガイド情報誌「ことりっぷ横浜西区さんぽ」(日本語版・英語版)を配布し、来街者へ西区の魅力を発信します。なお、コロナ禍における外国人観光客の来街状況を踏まえ、英語版の増刷は見送ることとし、引き続き効果的な配布を行います。

■参考：ガイド情報誌の発行実績

「ことりっぷ横浜西区さんぽ」	発行：平成30年3月(初版)、9月(増刷) 発行部数：初版2万部、増刷2万部 計4万部
「Discover Yokohama Nishi」 (英語版)	発行：令和元年7月(初版) 発行部数：5,000部

② まち歩きルート「温故知新のみち」の活用

来街者の増加が見込まれる都心部エリアについては、多くの人にご活用いただけるように案内サインの地図情報の更新を行いました。(8月)

また、より幅広い層へのまち歩きの促進を図るため、健康づくり等の視点を加えた周知を行っていきます。



「温故知新のみち」案内サイン

③ 三菱ドック踏切通路の美化

MM21地区と既成市街地の接続ポイントである三菱ドック踏切通路において、今後の来街者が増加する機会を捉えて、引き続き環境改善に向けた取組を行います。

■参考：関連する局事業

- ①地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善方策検討事業(都市整備局)
安全で快適な歩行者環境の整備に向けた、令和2年度の実施取組を踏まえた調査検討
- ②東横線廃線跡地の整備(都市整備局・道路局)
廃線跡地の調査設計及び利活用検討

(2) 地域資源を活用したまちづくりの推進(2,400千円)

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用して区内の回遊性を高めます。また、花と緑のまちづくり活動を推進するため、区内の学校や公共施設、公園内の花壇等において緑化に取り組む団体等を支援する「にしく緑花サポーター制度」を創設し、登録いただいた方への花苗等の配布を行っています。

(7月：第1回配布、11月：第2回配布予定)



「ガーデンネックレス横浜」事業と連携した取組



区内での花と緑づくりの活動(高島中央公園)

★ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 3,114千円 (対前年度比 1,853千円減)】

【見直し額 +3,500千円】

【見直し額 ▲800千円】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、“経営状況はかなり厳しい”との声が店舗、特に飲食店から届いています。そのことを踏まえ、商店街の振興や店舗への支援、周辺の地域資源の魅力を発信するため、効果的な事業及び広報を実施します。

(1) 商店街連携回遊性向上事業 (2,038千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

昨年度に引き続き、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー」を8月1日から1か月間開催しました。

また、これに続く「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり」を9月20日から開催します。

広く区民及び来街者に西区商店街の魅力発信を行うことで、商店街振興やまちの賑わいを創出します。

令和3年度は、参加商店会を8商店会から10商店会へと拡大して実施しています。

(拡大分：羽沢通り商店会、西区役所通り中央商店会)

また、特に厳しい状況にある飲食店の支援として、スタンプラリー参加者(先着・希望者)に対し、店内での飲食を提供している店舗を対象にした「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」を開催することで、身近な飲食店舗の魅力の再発見及び来店するきっかけづくりなど支援に繋がります。

■ 令和3年度開催時期

ア 西区商店街スタンプラリー 8月1日～8月31日 (10商店街)

イ 西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり 9月20日～10月31日 (22店舗)



スタンプラリー冊子及びステッカー(令和3年度)



食べ歩き冊子及びステッカー(令和3年度)

② オウチで西区商店会

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、依然厳しい状況にある飲食店を支援するため、「オウチで西区商店会」として、テイクアウトに対応している店舗を西区ホームページや西区公式Instagramに掲載することで、利用促進に繋がります。

飲食店舗への参加登録を働きかけ、店舗の充実を図ります。

(9 商店街、28店舗：うち飲食店舗・持ち帰り店舗26店)



出前・配達、お持ち帰りのサービスを行っている西区内の商店会加盟店をご紹介します。
新型コロナウイルス対策のため、お近くの店舗をご利用いただき、「3密」を回避するようご協力ください！（内容は順次更新します）
参加店舗はこのロゴが目印！

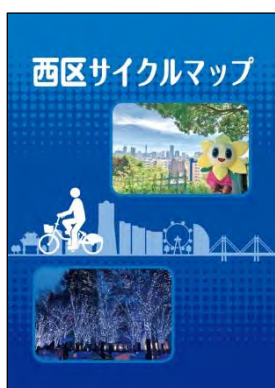
和食
洋食
中華料理
その他

これ以外のお店は【テイクアウト&デリバリー横浜】（横浜市経済局のページ）をご覧ください！

オウチで西区商店会 ホームページ カテゴリ:和食・洋食・中華料理・その他を導入。

③ バイバイクでまわる西区サイクルマップ

平成31年3月に発行した「西区サイクルマップ」は、持ち運びの便利さとマップの見やすさが好評で、令和2年11月に増刷を行いました。増刷に伴い、桜や紅葉スポットを追記した他、新たに藤の花スポットやビューポイント等の紹介を行い、新旧市街地の回遊性向上を図っています。今後は来街者の動線を意識し、区内ホテルや神奈川大学等への配布を行っていきます。



西区サイクルマップ(表紙)



西区サイクルマップ(藤棚及びビューポイント)

■参考：西区サイクルマップ

発行：令和2年11月（ふるさと西区推進委員会）

発行部数：10,000部

配布場所：西区役所、各観光案内所、区内地区センター、コミュニティハウス 等

■増刷に伴う追加項目

桜スポット：10か所→21か所

紅葉スポット：6か所→9か所

藤の花スポット：（新規）13か所

ビューポイント：（新規）15か所

特記事項：自転車損害賠償責任保険加入義務化、自転車に乗る時のルールとマナー、
バイバイク利用前後の手洗いや消毒の推進、オウチで西区商店会！、
西区デジタル観光マップのPR 等

(2) まちの賑わい創出事業 (1,076千円) + (見直し額 3,500千円)

① デジタル観光マップを活用した商店街情報発信事業

スマートフォンで手軽に検索できる「デジタル観光マップ」に「オウチで西区商店会」の参加店舗を紹介することで、区内商店街への利用者増加を図ります。



西区デジタル観光マップ投稿(一部)



スマホ画面表示イメージ

② インスタグラム事業

写真に特化した魅力発信ツールの「インスタグラム」を活用し、イベントや西区内の魅力スポットを随時発信するとともに、SNSでの関連付けである「# “ハッシュタグ”」にて投稿者との連携を呼びかけることでフォロワー数の増加を図り、まちの賑わいづくりに繋がります。

また、コロナ禍におけるSNSでの情報発信の需要にあわせ、広報よこはまへの掲載によりアカウントの周知を図ります。



イベント(オリパラ事業と関連した投稿)



魅力スポット



広報よこはまへの掲載

■参考：西区公式Instagram (令和3年8月末日現在)

【投稿数：地域振興課】	
・5月末現在：141件	
・8月末現在：157件	
・投稿数	16件増
【フォロワー数】	
・5月末現在：1,063人	
・8月末現在：1,240人	
・フォロワー数	177人増

③ 「にしくスタイル（仮称）」事業（見直し額 1,500 千円）

区役所前での日替わりブースの出展

コロナ禍により地域活動がままならない状況をふまえ、西区役所前に特設ブースを設置し、地域団体に日替わりで出店して頂くことで、物販や活動紹介などを通じて地域活動の継続を図ります。

実施時期：令和4年1月（検討中）

開催場所：西区役所前広場



ブースの様子(イメージ)



物販の様子(イメージ)

④ 「にしくキッチン（仮称）」事業（見直し額 2,000 千円）

西区飲食店提供の弁当販売

西区の飲食店が提供する弁当・総菜等を区役所前広場で販売します。コロナ禍の飲食店を支援するとともに、西区の飲食店の多彩さをアピールします。

なお、実施にあたっては、経済局の「地域経済活性化事業」との連携を視野に入れながら検討を進めます。

実施時期：令和4年2月（検討中）

開催場所：西区役所前広場



ブースの様子(イメージ)



商品(イメージ)

★コ 西区民まつり（主催：西区民まつり実行委員会）

（地域振興課）

【予算額 6,007千円（対前年度比 307千円増）】

【見直し額 ▲6,007千円】

西区では新旧市街地住民の連帯意識を高めるための交流推進が課題となっています。

西区民まつりは、区民による区民のための交流事業として、地域との連携と共生を図り、顔の見える関係づくりや情報発信を充実させ、地域活動の活性化を図ることを目的に昭和51年から開催しています。

令和3年度の西区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、西区民まつり実行委員会において開催中止を決定しました。（令和3年7月16日）

(1) 西区民まつり事業（6,007千円）

令和元年度は、戸部公園や西前小学校を会場として、次の内容で実施しました。

戸部公園：くらしの広場（飲食ブース等）、健康広場（健康チェック等）、
ステージ（ダンスや楽器演奏等）

西前小学校：子どもの広場（ミニSL乗車、射的等）



ステージ(令和元年度)



子どもの広場(令和元年度)



くらしの広場(令和元年度)

★サ ふるさと西区魅力発信事業（主催：ふるさと西区推進委員会）（地域振興課）
 【予算額 4,845千円（対前年度比 735千円増）】
 【見直し額 +800千円】

西区の伝統文化、歴史的資産や魅力を総合的に発信することで幅広い区民の参加を図り、区民の一体感、まちの賑わいづくりを促進することを目的として、平成22年度から事業を展開しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「西区虫の音を聞く会」、「横浜かもんやま能」及び「西区キャンドルアート」の開催を断念しましたが、令和3年度は、感染症対策を含め、コロナ禍での開催方法について検討を行っています。

(1) 西区虫の音を聞く会（2,387千円）

横浜開港の立役者である「井伊掃部頭直弼公^{いいかもんのかみなおすけこう}」が伝統芸能や茶道に通じた文化人であったことから、銅像のある掃部山公園で、野点（屋外での茶会）や琴・尺八の演奏等を行い、和の伝統文化を楽しみながら区民の交流を深める催しとして、昭和40年から開催しています。

令和3年度は、公園内に献灯や万灯、雪洞を灯し、ろうそくの幻想的な灯りの中、鈴虫の音と共にお楽しみいただける内容での実施に向けて準備を進めましたが、神奈川県において緊急事態宣言が発出されたことに伴い、ふるさと西区推進委員会において開催中止を決定しました。（令和3年8月2日）

なお、次年度以降の開催に向けて、献灯・万灯、雪洞の点検及び補修を実施します。

■参考

昭和40年から始まり、令和元年度に第55回を開催しました。
 （令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止）
 入場者数：約10,000人（令和元年度）※新元号を祝して彦根鉄砲隊による火縄銃演武を実施。
 約8,000人（平成30年度）

(2) 横浜かもんやま能（1,300千円） ※このほか、文化観光局との連携事業（局予算 500千円）

井伊直弼公ゆかりの演者・演目による能と狂言の鑑賞会です。昭和59年度に「かもんやま薪能」として始まり、平成9年度に「横浜かもんやま能」と名称を変更し開催しています。

令和3年度は、座席数を制限する等の感染症対策を講じながら、伝統文化に触れる機会をご用意できるよう、ふるさと西区推進委員会で準備を進めています。

また、文化観光局の事業「DanceDanceDance@YOKOHAMA2021」と連携し、巡回パネル展及び能、狂言に親しむための映像放送を実施しました。

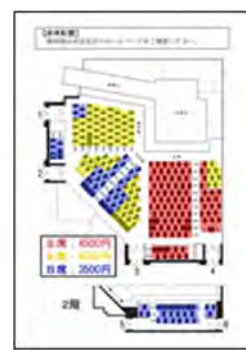
なお、例年はチケットの区民先行販売を区役所にて先着順で実施していますが、今年度は感染症拡大防止のため、電話・メールでの受付のみとし、購入希望座席が重複した際には抽選を実施することとしました。



開催の様子(令和元年度)



区民先行販売のチラシ(表面)



区民先行販売のチラシ(裏面)

(3) 西区キャンドルアート (590千円)

毎年12月にみなとみらいのグランモール公園で開催される一夜限りのキャンドルイベントです。Y150のプレイメントとして、平成20年に始まり、現在は街の魅力向上を目的に開催しています。

令和3年度は、西区のマスコットキャラクター「にしまろちゃん」と西区と交流のある滋賀県彦根市のマスコットキャラクター「ひこにゃん」をモチーフにしたキャンドルや小学生の皆さんが心を込めて描いたキャンドルで会場を優しく照らし、幻想的な雰囲気をお楽しみいただけるよう、ふるさと西区推進委員会で検討しています。



会場(グランモール公園)の様子(令和元年度)

(4) 彦根市との友好交流等 (568千円)

(5) ふるさと西区魅力発信情報誌の作成 (見直し額 800千円)

「西区虫の音を聞く会」、「横浜かもんやま能」及び「西区キャンドルアート」並びに「滋賀県彦根市との友好交流事業」等の内容を統合した情報誌を発行しました。「ふるさとを感じ、愛着を深める場“西区”」をキャッチコピーに、在住者・来街者へ西区の歴史、魅力を発信し、街の回遊性向上を図っていきます。

■参考：ふるさと西区魅力発信情報誌

発行：令和3年8月(ふるさと西区推進委員会)

発行部数：5,000部

配布場所：西区役所、区内公共施設、区内市営地下鉄駅、彦根市物産展(予定)等



ふるさと西区魅力発信情報誌



★シ スポーツ振興等事業

(地域振興課)

【予算額 4,175千円 (対前年度比 300千円減)】

【見直し額 ▲200千円】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、地区センター等の身近な施設で大会グッズの展示等、区民がスポーツに親しむ機会を提供します。

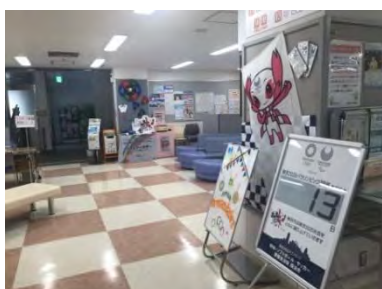
また、大会終了後は、大会のレガシーを残す取組を実施します。さらに、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に合わせたスポーツ振興 (3,400千円)

① 東京2020大会機運醸成

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機として、身近な場でオリンピック・パラリンピックに親しめる機会として区内施設と連携し、大会グッズの展示等を実施しました。(令和3年3月24日～4月28日)また、一本松小学校、宮谷小学校、平沼小学校(令和3年6月7日～7月16日)や区庁舎内(令和3年7月21日～9月3日)での展示を実施しました。

また、横浜FCの御協力によりホームゲームに区民等を御招待や優待する「にし区民DAY」を開催しました。(開催日：令和3年6月27日)



区庁舎1階区民ホール
東京2020大会グッズ展示



東京2020大会グッズ啓発展示
(一本松小学校)



オリンピック仕様
展示期間：7/21～8/6



パラリンピック仕様
展示期間：8/10～9/3

② ハマのウォーキングフェスティバル

開催予定日：令和3年12月5日（日）

コース：戸部公園運動広場～みなとみらい臨港パーク潮入りの池

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを開催します。令和2年度は、671名の方々にご参加いただきました。令和3年度も昨年実施したキャッシュレス決済を引き続き行うなど、開催方法を十分に検討し実施します。



スタート会場(戸部公園)
キャッシュレス決済の導入
(令和2年度)



スタート会場(戸部公園)
非接触での物品のお渡し
(令和2年度)



ゴール会場(臨港パーク)
(令和2年度)

(2) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業（775千円）

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業

(西土木事務所)

【予算額 2,353千円(対前年度比 300千円増)】

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、8公園に藤棚が整備されていますが、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっています。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、引き続き藤棚の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、取組を進めます。

(1) 公園・施設等の緑化推進 (1,553千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

夏季の取り組みとして、5月17日から6月23日にかけて、13公園で、公園愛護会を中心に延べ135人が参加し、協働で花苗植え作業を行いました。保育園児や小学生などが参加した公園もあり、子供たちとの交流を深める場ともなりました。また、この他16公園愛護会に花苗を提供し、独自に花苗植えを行っていただきました。

(年2回、29公園)



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進 (800千円)

① 公園の藤棚による維持管理の試行

区内の藤棚がある公園にて、藤棚再生に向け藤棚に関する維持管理の有識者を講師として選定し、昨年度に引き続き剪定作業時にアドバイスを頂きながら維持管理を試行し、維持管理方法の確立を目指します。6月に講師と一緒に各公園の状況を確認、夏季剪定のアドバイスを受け、8公園での夏季の作業を完了しています。 (通年)



② 地域への維持管理手法の共有

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有していきます。今年度も夏季作業を学ぶ場として、6月24日に藤棚の管理者向けの講習会を実施しました。

また、7月2日には「お庭で育てる藤の管理作業」と題した個人向けの夏季作業講習会を実施し、藤の花を通じたさらなる地域のにぎわい活性化を進めています。 (通年)



③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信

昨年6月19日からツイッターでの情報発信を開始、引き続き管理作業のポイントや藤棚の紹介などをツイートしていくとともに、西土木事務所のホームページでも同時に情報発信を行います。 (通年)



ツイッターでの情報発信

★セ 広報充実事業

(区政推進課)

【予算額 2,728千円 (対前年度比 386千円増)】

【見直し額 +100千円】

新型コロナウイルス感染症や防災・安全関連情報等、必要な情報を迅速・的確に発信するとともに、情報のデジタル化や多言語対応を推進し、誰もが手軽に情報を入手できる環境を整えます。また、西区の行政情報や魅力スポット情報を様々な媒体を活用して発信します。

(1) 広報印刷物のデジタル化・多言語化 (495千円)

デジタルネイティブ・外国人住民の方、在勤者の皆さんなど、より多くの人に手軽に行政情報を受け取ってもらうため、無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket (カタログポケット)」を導入し、「広報よこはま西区版」など暮らしに関する情報を10言語で配信しています。音声読み上げ機能やユニバーサルフォント表示機能も付いているため、世代を問わずあらゆる人に使いやすいアプリとなっています。

内容の充実を図るため、随時掲載情報を拡充しています。



■参考：Catalog Pocket (カタログポケット) 概要

公開日：令和2年12月22日

主な特色

- ・10言語に自動翻訳
{日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)・タイ語
ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語}
- ・自動音声による読み上げ機能(ベトナム語を除く)
- ・弱視や高齢の方にも見やすいユニバーサルデザインフォント対応
- ・文字を拡大表示するポップアップ機能
- ・新規配信をプッシュ通知でお知らせ

(2) 各種広報事業 (2,233千円) + (見直し額 100千円)

これまでの紙媒体情報発信に加え、ホームページ・デジタル観光マップ等、電子媒体を活用し、在住・在勤問わず、幅広い年齢層へ情報を発信しています。新しい生活様式を踏まえ、講習会・講演会等のライブ配信を可能にするため、西区YouTubeチャンネルを開設しました(併せて必要機材を購入)。この他、西区の事業や魅力を楽しんでいただけるよう動画配信も行っています。

■参考：西区ホームページ「#にしまろちゃんねる」

西区の事業や魅力を動画で発信。

- ・多言語電子ブック「カタログポケット」紹介動画
- ・「まちかど緑のボランティア」花壇づくり
- ・野毛山動物園 動物紹介(キリン・ヨウスコウワニ)
- ・三菱ドック踏切通路壁面掃除の様子



デジタル観光マップイメージ

ソ 西区環境行動推進事業

(区政推進課)

【予算額 2,106千円 (対前年度比 802千円減)】

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

(1) 区民・事業者・行政が一体となった取組の推進 (1,816千円)

プラスチック等による海洋汚染問題への対策等、環境に配慮した具体的な行動の実践の拡大・定着・浸透を目指し、区民参加型取組「にしくecoチャレンジ」を実施します。

また、区内企業・団体等の環境配慮行動をPRする「SDGsパネル展」を開催し、区民の方が各活動への興味関心を持てるような機会を提供します。

■参考1：にしくecoチャレンジ2021

実施期間：令和3年11月～令和4年2月

事業概要：環境配慮行動及び感染症拡大防止に向けた新たな生活様式の実践を促すため、これまでに取り組んだことのない新たな3つの取組にチャレンジし応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。

参加企業・団体数：20者程度

取組メニュー（昨年度の例）

- ・食べきり協力店で残さず食べよう
- ・SDGsパネル展にあって、理解を深めよう
- ・徒歩やシェアサイクルなどの自転車利用も併用して
- ・テレワークや時差通勤を活用しよう



にしくecoチャレンジ2020
パンフレット

■参考2：SDGsパネル展

開催期間：令和3年11月～12月のうち1か月程度を想定
期間中、区内にて巡回展示（複数会場）

事業概要：区内企業・団体におけるSDGs達成に向けた取組や感染症拡大防止に向けた取組を、各社概要等と共にパネルで紹介。



SDGsパネル展 昨年度の様子
(ジョイナス地下1階四角広場)

■参考3：神奈川大学でのSDGsパネル展示

開催場所：神奈川大学みなとみらいキャンパス

開催期間：令和3年4月14日(水)～展示中（8月31日時点）



神奈川大学でのパネル展示

(2) 産官学連携による次世代を担う子ども達への環境学習支援 (290千円)

将来を担う子どもたちや子育て世代への環境配慮行動の理解促進を図るため、区内の企業・団体と連携し、産官学連携による環境学習イベント等を実施します。

タ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,858千円 (対前年度比 539千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、地域清掃活動の支援や3R行動の推進を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン講座など新しい生活様式を取り入れた取組を積極的に事業展開し、事業効果の最大化を図ります。

(1) ごみの減量・リサイクルの定着を図っていく事業 (146千円)

西区環境行動推進本部総会 (書面表決による議決) 及び西区環境行動推進功労者表彰式を開催しました。(7月7日開催:表彰 個人8団体4)

また、コロナ禍において今後もテイクアウトやまとめ買い等によるワンウェイプラスチックごみの増量が見込まれることから、資源循環局西事務所と連携し、区内全集積場所 (7月末:2,342か所) に分別啓発チラシを貼付する他、月替わりの懸垂幕による視認啓発を継続します。



西区環境行動推進功労者表彰式



集積場所貼付イメージ
(7月末:1,351枚貼付済)

(2) 3R行動を推進していく事業 (297千円)

区内大型スーパーにおいて、企業と協働してプラスチック対策等のパネル展をお客様が確認しやすいイートインスペースを活用し、実施しています。また、スーパー店頭啓発では、新型コロナウイルス感染症対策としてお客様との接触を極力避けるため、新たにSNS (Instagram) を活用し、食品ロスに関するアンケート調査を実施しました。(7月14日実施)



サミット横浜岡野店
イートインスペース視認啓発



SNS (Instagram) を活用した
アンケート調査

(3) こどもたちの環境学習を支援していく事業 (394千円)

小学生を対象にした環境学習では3 R講座と併用して、リサイクルびんと廃油を使用したエコキャンドル作りを小学校で2回実施し、3 Rに対して理解を深めました。(8月)

また、(公財)横浜市資源循環公社との連携、企業との協力のもと、小学校を対象に新たに資源選別センターと教室をつなぐ「ペットボトルリサイクルオンライン講座」を実施します。

オンライン講座では、学校からの要望に応じ、焼却工場等からの中継先を増やす環境学習を展開していきます。(10月28日実施予定)



3 R講座 (東小学校 4年1組)



キャンドル制作 (東小学校 4年2組)

(4) 清潔できれいな街づくりを進める事業 (2,021千円)

① 地域清掃活動支援強化事業 (WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)

6月26日(土)、27日(日)に予定していた東京2020オリンピック聖火ランナー応援清掃は、東京2020オリンピック聖火リレー公道走行中止に伴い開催中止となりました。コロナ禍で大規模なクリーンキャンペーンは行えない状況ではありますが、引き続き区局が連携した行政職員による清掃活動及び企業協力による啓発を行っていきます。(通年)

また、ポイ捨て対策として、新田間川遊歩道や帷子川遊歩道で実施している横断幕等による視認啓発に加え、新たにポイ捨て禁止路面シールを作成し、横浜駅西口周辺の歩道に貼付することで、清潔できれいな街づくりを推進していきます。(3月実施予定)



行政職員(関係区局)による清掃活動
(7月21日(水)実施)



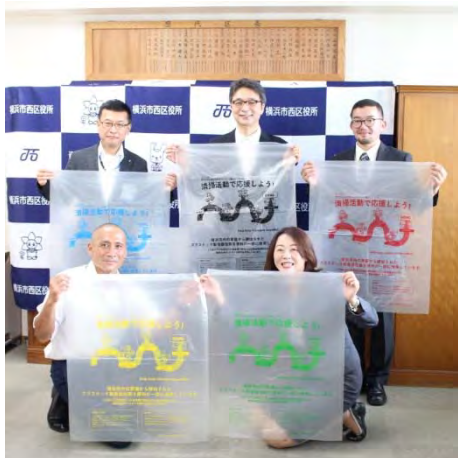
ポイ捨て禁止路面シール
(イメージ図)

② 地域清掃推進

自治会・町内会等による地域清掃を支援するため、希望された清掃用具を配付しました。（8月）

また、プラスチック対策として、引き続きバイオマスプラスチック製品のごみ袋を配布するとともに、市内企業の協力により、石油由来原料の使用削減を目的に横浜市内の家庭から排出されたプラスチック製容器包装を原料の一部に使用したごみ袋を寄贈していただきました。

今後も環境に配慮した製品を積極的に取り入れ、地域清掃で使用していきます。



寄贈式（7月7日（水））
（有限会社 羽田ポリエチレン様より寄贈）



寄贈されたごみ袋を使用した清掃活動
（7月21日（水）実施）

チ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,424千円 (前年度同額)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を実施しています。

(1) 小学校への交通安全教育事業 (200千円)

感染症対策が続く中においても、児童への交通安全教育は子ども達の安全を確保するための大切な取り組みです。

特に新1年生に対する「歩行訓練」は各小学校から要望が強く、早期の実施が求められているため、戸部警察署、戸部交通安全協会、西区役所の3者で連携し、4月から6月にかけて全10校で実施しました。



富士見台小学校交通安全教室(令和3年6月23日実施)

(2) 交通安全運動推進事業 (1,094千円)

感染症対策を行いながら各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、啓発物品の配布等により、区民をはじめ、来街者へ交通事故防止を呼びかけています。

7月には夏の交通事故防止キャンペーンとして、戸部警察署、戸部交通安全協会と連携し、グランモール公園や区内スーパーの店頭で交通安全啓発物品を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



グランモール公園での啓発活動(令和3年7月12日実施)



サミットストア横浜岡野店での啓発活動
 (令和3年7月14日実施
 ※プラごみ削減キャンペーンと同時開催)



啓発物品(キャンペーンチラシ、「自転車ルールのきほん」
 ガイドブック、反射材キーホルダー、ケース入りマスク、
 フリーザーパック)

(3) スクールゾーンにおける安全対策 (1,130千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、活動助成金を交付しました(全10校)。また、各学校の協議会の要望に基づき、ストップマーク(新設3件、補修6件)やとびだし注意看板(新設1件)を設置しました(10校中6校完了)。今後も自治会・町内会、警察、関係団体と連携を取りながら、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を行います。



ストップマーク
 (戸部町4丁目160番地 掃部山公園出入口付近)



とびだし注意
 (西戸部町2丁目157番地付近 十字路交差点)



スクールゾーン路面標示(イメージ)



電柱巻(イメージ)

ツ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,004千円 (対前年度比 7千円減)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化しています。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業 (472千円)

防犯情報提供事業として、戸部警察署と連携し、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信及び犯罪発生状況のホームページ掲載を継続的に実施しています。

防犯意識啓発事業としては、4月から6月にかけて全10校で実施した「はまっ子交通安全教室」で、戸部警察署生活安全課スクールサポーターによる新1年生を対象とした防犯教室を併せて実施しました。また、資源化推進担当と連携し、防犯啓発物品(マスク)の配布による店頭啓発を実施しました。

今後はタウン誌へ注意喚起の記事を掲載するなど広報活動を拡充するとともに、戸部警察署及び西区防犯協会との共催事業として、防犯関係団体が一堂に会する「地域安全西区民のつどい」(10/9:西公会堂)を開催します。

(2) 青色パトロールの実施 (1,532千円)

特殊詐欺及びこどもの防犯対策のため、戸部警察署及び民間警備会社と連携し、青色(防犯)パトロール活動を実施しています。

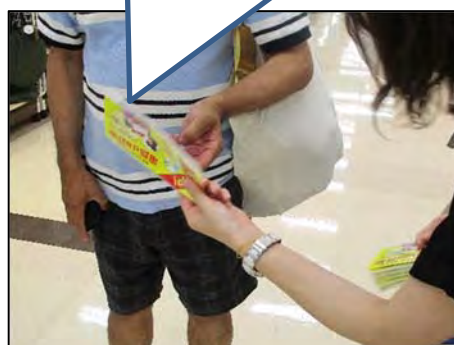
■参考

・防犯メール配信件数	令和3年8月末現在：7件(メーリングリスト登録件数：約1,460件)
・青色パトロール実施回数	令和3年8月末現在：20回(週1回程度、年48回実施予定)
・特殊詐欺被害額等	令和3年7月末現在：約670万円(件数：7件) (令和2年度同期比：△約150万円/＋2件)

防犯啓発物品
(マスク)



防犯教室(はまっ子交通安全教室内で実施)
(稲荷台小学校 令和3年4月30日実施)



サミットストア横浜岡野店での啓発活動
(令和3年6月9日実施
※プラごみ削減キャンペーンと同時開催)

テ 食中毒・感染症予防対策事業

(生活衛生課)

【予算額 1,174千円 (対前年度比 100千円増)】

西区の食中毒・感染症予防対策を推進するため、食の安全の確保事業、動物・昆虫媒介感染症対策事業、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る啓発事業を実施します。

(1) 食の安全確保事業 (436千円)

① 食品取扱施設の衛生確保事業

ホテル・商業施設内の飲食店、イベント出店施設、社会福祉関連給食施設などを対象に、配布資料や清浄度検査機器を活用した効率的・効果的・わかり易い衛生指導を実施（実績：清浄度検査機器の活用 9施設・31検体（区内小学校給食施設）、資料配布 1,200部）し、食品取扱施設の衛生確保を支援します。

② 食の安全に関する情報発信事業

食品衛生責任者、地域活動の担い手、一般消費者に対する食品衛生講習会、市バス乗客に対するカンピロバクター食中毒予防動画の放映、福祉保健センター主催の教室・会議参加者に対する食中毒予防注意喚起ロゴ入り除菌ウェットティッシュの配布（実績：100個）を通じた食の安全に関する情報の発信により、食中毒の未然防止を図ります。

(2) 動物・昆虫媒介感染症対策事業 (60千円)

① ねずみ、衛生害虫媒介感染症の防除啓発事業

区民・ビル管理者・ビル所有者に対する、パネル展、啓発チラシ配布を実施します。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業 (100千円)

① 感染予防に関する情報発信事業

商業施設、宿泊施設、食品取扱施設、イベント出店施設に対するリーフレットの配布（実績：400部）、来庁者等に対するロゴ入り除菌ウェットティッシュの配布（実績：150個）により、感染予防に関する情報を発信します。

② 室内換気啓発事業

大規模建築物、区民利用施設、生活衛生関係営業施設への訪問及び機器貸出しによる室内二酸化炭素濃度の「見える化」を図り、感染症予防における換気的重要性を周知します。加えて、5月からは区民利用施設等を対象にCO₂モニターの無料貸出しを開始し（実績：5件・7台）、同モニターの各施設への導入を推進しています。



CO₂モニター本体



ト 地域防災活動推進事業

(総務課) (福祉保健課)

【予算額 13,003千円 (対前年度比 230千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

(1) 地域防災拠点の機能強化 (1,522千円)

① 新型コロナウイルス感染症対策の強化と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点（以下、「拠点」）運営ができるよう、拠点開設運営のスターターキット、テントなどの対策物品を追加するとともに、避難所スペースの拡充を図ります。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう各拠点の実情に対応した支援を行います。



一本松小学校地域防災拠点訓練
(R2年度訓練の様子)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(8月30日防災週間～3月11日、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、令和2年度西区地域防災拠点での取組事例や、危機管理室作成の感染症対策のために推奨する訓練例を各拠点と共有し、新型コロナウイルス感染症を踏まえた訓練の実施を支援します。

・拠点参与向けの研修 (7月1日実施)

実施日	拠点名	訓練内容	備考
9月12日	岡野中	拠点立ち上げ・各班訓練、 通信訓練備蓄庫整理・確認、資機材点検	運営委員、市職員動員者で 実施

※戸部小、浅間台小、一本松小、東小、宮谷小、西前小、稲荷台小、平沼小、西中、軽井沢中、
老松中学校は未定

(2) 区本部の防災機能強化 (6,743千円)

① 震災・風水害対策の強化及びICT機器の導入

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練 (6月4日実施)
- ・震災対策訓練 (11月)

7月3日の土砂災害警戒情報発表に伴う一本松小学校避難場所開設時の課題を踏まえ、避難場所の改善を図りました。

また、区内防災スピーカーの動作確認のための試験放送の実施 (1回目：8月10日実施、2回目：9月13日実施予定) や、情報収集強化のため全方位カメラを導入し、発災時における区本部の災害対応力を強化します。



6月4日区職員風水害訓練の様子

② 帰宅困難者一時滞在施設との連携強化

昨年度協定締結したJR横浜タワー及びパシフィコ横浜ノースと新たに訓練を実施するなど、各帰宅困難者一時滞在施設との連携強化を図ります。

- ・JR横浜タワーでの帰宅困難者対策訓練 (6月10日実施)

③ 災害医療対策の推進

医療救護隊巡回訓練 (1月) や区内医療機関・医療局との通信訓練 (隔月)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会 (2~3月) を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進 (4,738千円)

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携しての啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考1：感震ブレーカー補助実績
令和3年度：41個 (8月31日時点)
令和2年度：447個
令和元年度：206個
■参考2：初期消火器具更新実績
令和3年度：1基 (8月31日時点)
令和2年度：17基
令和元年度：7基

② 区民への防災・減災の普及啓発

防災・減災に関する啓発のために、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。7月には、小学校3校で計7回のセミナーを実施しました。

なお、防災講演会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施方法を検討します。

災害時における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、在宅避難に関するリーフレットを作成し、啓発を進めます。(12月発行予定)

また、出水期を控え、風水害への備えについて、浸水想定区域内の避難が必要と思われる要援護者へ、緊急時情報伝達システム登録案内を配布(4月)し、新たに59件登録(合計193件)するとともに、即時避難指示対象区域の崖エリアにお住まいの方に対して、マイタイムライン(防災行動計画)シート等を配布(6月)し、注意喚起を図りました。

その他、広報よこはま西区版5月号と8月号で防災特集を組み、啓発を実施しました。

■参考1：令和3年度小・中学校向けセミナー実績及び予定

- ・ 5/26 みなとみらい本町4年生2クラスに防災セミナー実施
- ・ 6/29 戸部小学校4年生2クラスに防災セミナー実施
- ・ 7/13、15 西前小学校4年生3クラスに防災セミナー実施

■参考2：学校教職員向けに実施した防災研修実績

- ・ 7/9 西区中学校長会において防災研修実施

■参考3：地域及び地域事業者向けに実施した防災研修実績

- ・ 6/1 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにおいて防災講話実施
- ・ 8/26 浅間町5丁目町内会会館において、高齢者団体に向けて防災講話実施

③ 普及啓発の多言語化への対応

無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket(カタログポケット)」等を活用し、外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう多言語化を図り普及啓発します。

令和2年度に公開した「もしもにそなえる防災ノート」に引き続き、「小・中学生向け防災ガイド」及び「シニア世代のための防災リーフレット」を掲載しました。(5月)

3-(4) 令和4年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

1 予算編成の基本方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、収束の見通しが立たず、区民の生活や経済に深刻な影響が生じています。新型コロナウイルスワクチンの接種が進む中、感染状況を十分に把握した上で、「感染症対策の取組」「経済再生の実現」「地域活動の継続」を推進していく必要があります。

第4期「にこまちプラン」(西区地域福祉保健計画)については、地域包括ケアシステムの構築に向けた西区行動指針と併せて、地域課題の解決に向けた取組をより一体的に進めることが求められています。

また、デジタル技術を活用して、区民ニーズにあった利便性の高いサービスを選択できる、デジタル社会に対応した新しい行政サービスの実現が求められています。

そうした状況を踏まえ、令和4年度の西区予算編成では、西区の基本目標の達成に向けて、以下の重点項目を設定し事業の検討を進めます。

2 基本目標

つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ

3 重点項目

(1) 地域のつながりづくり

「にこまちプラン」の推進を通じて、地域主体の取組、課題解決の場づくりや担い手づくりを支援するとともに、つながりづくりを応援します。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい状況が続く中で、地域や活動者の声に寄り添い、支援を続け、活動の維持発展に向けた新しい手法も検討し、実践します。

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者への活動のサポート、障害の理解を深める啓発、感染症予防、生活習慣病予防などの健康づくりを進めます。

(3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

地域・企業の皆さまによって連綿と醸成されてきた「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を、新しい生活様式を踏まえた上で、地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。

(4) 安全・安心なまちづくり

新型コロナウイルス感染症対策など健康危機管理に取り組むとともに、要援護者対応に係る自助・共助の取組の支援、横浜駅やみなとみらい地区等の大規模施設、複数の危険密集市街地、土砂災害特別警戒区域等を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、地域と連携した防犯・交通安全対策、企業等との協働によるプラスチック対策などに力を入れて取り組みます。

(5) 親しみやすい区役所づくり

区民の皆さまに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供するとともに、誰もが安心して快適に施設を利用することができるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を行います。

4 予算編成の進め方

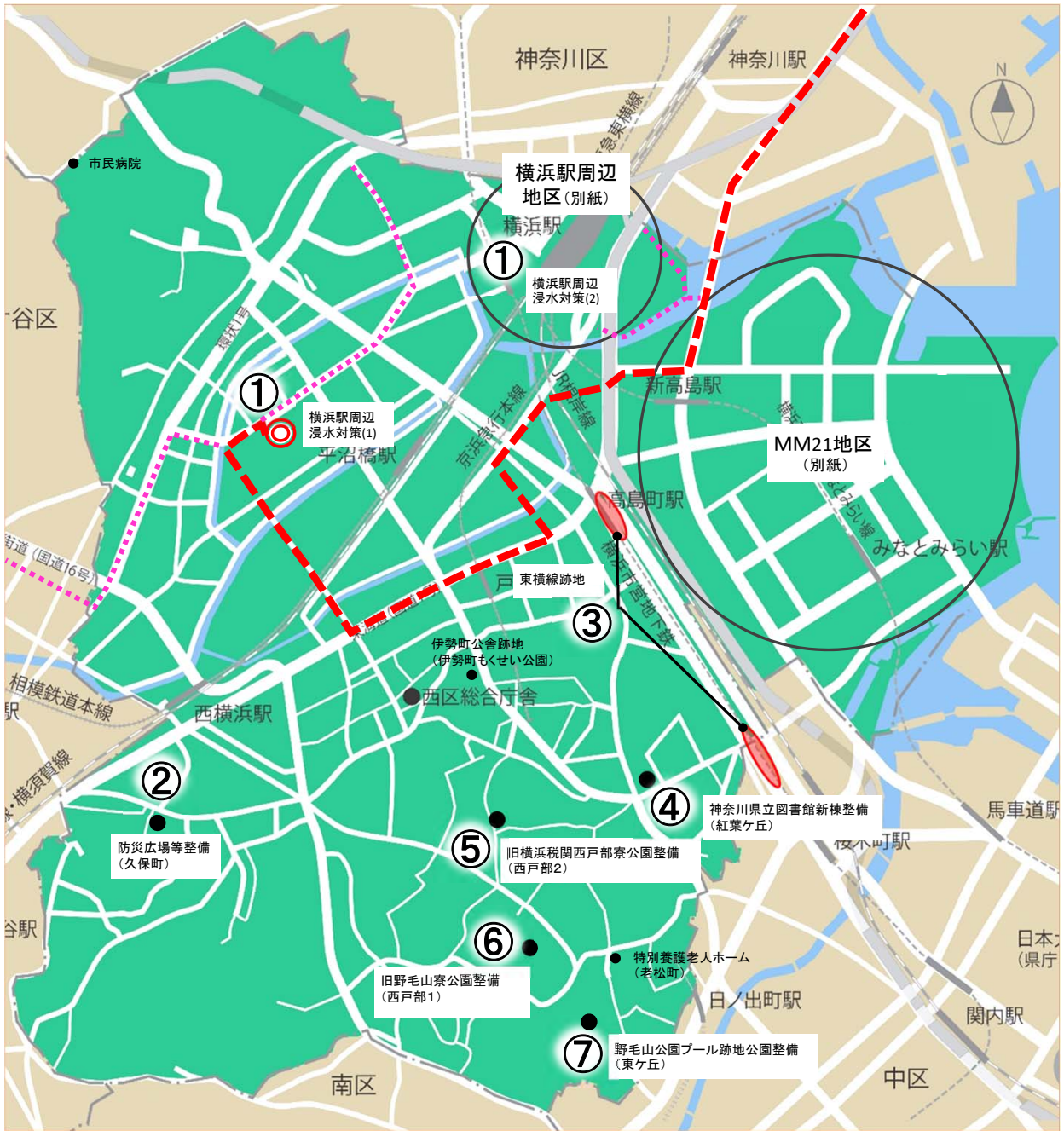
- (1) 事業の検討にあたっては、円卓会議をはじめ、様々な機会を通じていただいた区民の皆様のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。
- (2) 地域の新たなニーズや課題、特に新型コロナウイルス感染症によって変わった新しい社会に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、ゼロベースから必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。
- (3) その他、市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して編成を進めます。

3-(5) 西区における開発動向等

地区	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。令和3(2021)年5月末に工事に着手しました。</p> <p>【スケジュール】 令和3(2021)年5月末 工事着手 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。</p> <p>【スケジュール】 平成29～令和2(2020)年度 水位計測、データ解析、周知方法の検討 令和3(2021)年度 水位情報の提供開始(6月28日)、水位計の増設検討 水位周知下水道の指定について継続して検討</p>
②	<p>久保町防災広場等整備 老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。</p> <p>【施設概要】 防災広場等 【スケジュール】 令和2(2020)年度 工事实施完了(防火水槽撤去、防災広場・新設道路整備) 令和3(2021)年度 工事实施完了(防災広場・新設道路整備)、移管手続中</p>
③	<p>東横線廃線跡地 桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間を令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始しました。供用区間の利活用に関する実験イベントを令和元年度に2回(9月24日、12月20日)、令和2年度には1回(10月18日)開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>なお、平成29年に道路構造物の耐震基準の改定が行われたことから、構造物の劣化が進んでいる浅山橋交差点～高島町交差点間の構造物健全度調査を令和2年度に実施し、必要な対策の検討を進めています。</p> <p>また、旧高島町駅付近の高架下は平成30年8月から令和3年3月まで「R16 国道16号線スタジオ」として暫定活用をしており、アーティスト・クリエイターの創作活動の場となっていました。</p>

地区	概要
④	<p>神奈川県立図書館新棟整備 神奈川県が旧県立紅葉ヶ丘高等職業技術校跡地に、県立図書館新棟の整備を行います。</p> <p>新棟を新たに整備し、「価値を創造する図書館」としての機能を付加するとともに、今後、既存本館は建物等の魅力を活かした「魅せる図書館」、既存新館は収蔵庫として改修する予定です。</p> <p>【施設概要】敷地面積1,908㎡ 延床面積3,737㎡、地上4階</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年 着工 令和3(2021)年度 竣工予定 令和4(2022)年度 開館予定</p>
⑤	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 既存建物解体、公園計画の検討 令和3(2021)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑥	<p>旧野毛山寮公園整備 当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,700㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 道路整備工事、公園設計 令和3(2021)年度 公園工事(基盤整備)、 公道化(南側)整備に向けた調査 令和4(2022)年度 公園工事、移管手続等、公道化(南側)調査・設計(予定) 令和5(2023)年度以降 公道化(南側)設計・整備(予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってききましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】土地面積 約6,200㎡</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年度 所管替え、公園計画の検討 令和3(2021)年度 公園計画について継続して検討 令和4(2022)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>

西区開発動向分布図



3-(5) 西区における開発動向等について(横浜駅周辺地区)

横浜駅西口	<p>令和2年6月に東日本旅客鉄道(株)によるJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビル整備が竣工しており、引き続き駅前広場の整備を進めます。</p> <p>また、神奈川県になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。</p>
横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事による事業費への影響が大きいが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。</p>
①	<p>中央西口駅前広場</p> <p>令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月 令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根が供用開始 (令和3(2021)年7月～9月はオリンピック・パラリンピックのため休工) 今後、横浜高島屋前屋根の整備を行っていく予定</p>
②	<p>きた西口駅前広場</p> <p>令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始 今後、屋根、高欄や植栽などの広場整備を行っていく予定</p>
③	<p>横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合</p> <p>階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等</p> <p>平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着手 令和5(2023)年度 竣工(予定)</p>

【全体スケジュール】

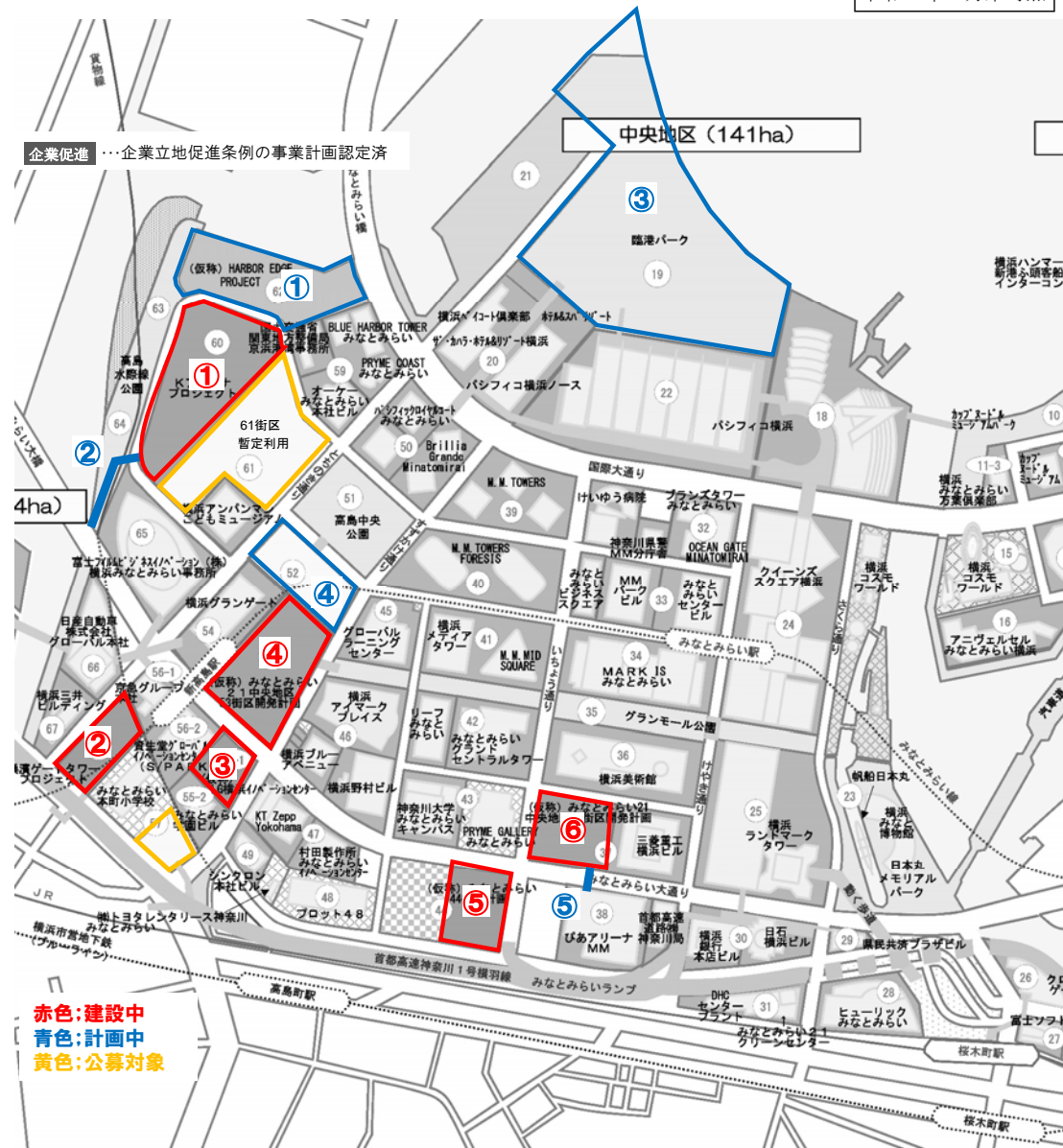
令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前、横浜高島屋前工事着手 JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了
令和4(2022)年度	①中央西口駅前広場整備完了(予定) ②きた西口駅前広場整備完了(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)



3-(5) 西区における開発動向等について(みなとみらい21地区)

令和3年7月末時点

<p>赤① 60・61の一部：Kアリーナプロジェクト 企業促進</p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上28階/約99m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約117,100㎡ 施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、オーブンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和5(2023)年10月予定</p>	<p>赤④ 53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画</p> <p>事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6(2024)年3月予定</p>
<p>赤② 58：横濱ゲートタワープロジェクト 企業促進</p> <p>事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険株式会社 規模等/高さ：地上21階、地下1階/約110m 敷地/延床面積：約9,300㎡/約84,000㎡ 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等 竣工：令和3(2021)年9月予定</p>	<p>赤⑤ 44の一部：(仮称)みなとみらい44街区計画 企業促進</p> <p>事業主体：積水ハウス株式会社 規模等/高さ：地上23階/約100m 敷地/延床面積：約9,600㎡/約65,800㎡ 施設：ホテル等 竣工：令和4(2022)年2月予定</p>
<p>赤③ 55-1：(仮称)LG横濱イノベーションセンター</p> <p>事業主体：LG Holdings Japan株式会社 規模等/高さ：地上16階・地下2階/約90m 敷地/延床面積：約4,000㎡/約35,900㎡ 施設：研究所、事務所、にぎわい施設等 竣工：令和3(2021)年11月予定</p>	<p>赤⑥ 37の一部：(仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画</p> <p>事業主体：合同会社K R F 4 8 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5(2023)年1月予定</p>
<p>青① 62：(仮称)HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：(代表企業) Berjaya Corporation Berhad (構成企業) 丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,200㎡/約82,700㎡ 施設：ホテル、水族館、店舗 竣工：令和8(2026)年3月予定</p>	<p>青④ 52：(仮称)みなとみらい52街区PJ 変更</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約171m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約110,100㎡ 施設：オフィス、ゲームアートミュージアム、イノベーションプラットフォーム、フォーム、店舗、地域冷暖房プラント 竣工：令和8(2026)年度予定</p>
<p>青② 60・61の一部-みなとみらい大通り：(仮称)高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3(2021)年10月予定 竣工予定：令和5(2023)年度中</p>	<p>青⑤ 37-38：(仮称)みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約50m 着工：令和3(2021)年10月予定 竣工予定：令和4(2022)年度中</p>
<p>青③ 19の一部：臨港パーク先端部等の整備</p> <p>事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ(パシフィコ横浜) 緑地、親水護岸、栈橋、薬場・浅場(人工海浜・岩場)等 着手予定：令和3(2021)年度</p>	



3-(6) 新型コロナウイルスワクチンの接種計画等

1 横浜市新型コロナウイルスワクチンの64歳以下の接種計画（8/4時点）

(1) 想定接種回数：約310万回

対象者数：64歳以下の人口：約245万人

ア 基礎疾患を有する方：約30万人×想定接種率80%＝約24万人

イ 高齢者施設等の従事者の方：約10万人×想定接種率80%＝約8万人

ウ ア、イ以外の方：約205万人×想定接種率60%＝約123万人

合計 約155万人

接種回数：約155万人×2回接種＝約310万回

(2) 接種手法別の割合（想定）

接種方法	ワクチンの種類	接種規模(割合)
個別接種(市内の医療機関)	ファイザー	約127.5万回(52%)
集団接種 (各区の公会堂やスポーツセンター等)	ファイザー	約84万回(35%)
大規模接種 (横浜ハンマーヘッドCIQホール)	武田/モデルナ	約31.6万回(13%)
合計		約243.1万回

※このほか、職域接種が行われます。

(3) 想定接種スケジュール

接種方法	8月	9月	10月	11月	12月
個別接種	随時接種開始				
集団接種	8/16接種開始	現在の会場	再編後 18会場		
大規模接種	8/16接種開始				

(4) 〈参考〉高齢者の接種状況（令和3年8月3日までにワクチン接種記録システム(VRS)に報告のあった数）

総接種者数	接種1回目	接種2回目完了
797,324人	57,947人	739,377人

2 西区での新型コロナウイルスワクチン接種

(1) 集団接種

ア 主会場 西公会堂・西地区センター 5月19日～6月27日

西スポーツセンター 6月30日～9月19日

イ その他会場 藤棚地区センター 6月10日～8月19日

(2) 個別接種（全市で約1,000か所）（9/1時点）

西区の医療機関 41か所 ※別紙「医療機関での個別接種について」参照

医療機関での個別接種について

R3.9.1時点

○医療機関での予約受付方法(西区)

(予約は医療機関からのお知らせをご確認の上、お取りください。)

医療機関名	住所	医療機関からのお知らせ			
		予約電話またはWebサイト	予約受付時間	予約開始日	備考
医療法人恵仁会 松島クリニック	西区伊勢町3丁目138番地	045-241-7311	日曜、祝日を除く、10時から11時、14時から16時	開始済	当クリニックにおかかりの患者様を優先とします。
横浜整形外科クリニック	西区岡野2-5-18	ウェブサイト準備中	6/13,6/20,6/27日曜日 9:00~15:30	開始済	今後日曜日以外でも接種日を増やしていきます。
同仁堂中医院	西区岡野1-3-6	045-311-3974	平日9時から11時30分および15時から18時30分	開始済	
横浜こどもクリニック	西区岡野2-5-18 サミット横浜岡野店2階	045-548-9777	月・火・木・金・土曜日の9時から12時まで	開始済	月火木金13:45-14:30,土15:00-17:00接種
横浜血管クリニック	西区岡野1-14-1 横浜メディカルセンタービル2階	080-7534-8880	金、日、祝日を除く9時から17時まで	開始済	
徳井内科クリニック	西区北幸1-2-13-3F	045-410-0355	平日15時から18時まで	開始済	接種は火~土実施しています
前川メディカルクリニック	西区北幸1-1-8	045-312-3615	平日14時30分から17時まで	開始済	
松尾医院	西区北幸1-4-5 天理ビル5階	045-311-4835	月・火・金の14時から17時まで	開始済	
よこはまペインクリニック	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル8階	https://docs.google.com/forms/d/1vshybSWGimbHH2DK6z4ki8op1aZ1e25zBv4MwX6U3lQ/edit	8時から18時(土日祝可)	開始済	問い合わせ先090-2224-0130(8-18時 土日祝可)
有馬医院	西区楠町27-2有馬ビル1階	045-311-0410	月から土曜日午前10時から12時まで	開始済	接種は平日 月、火、水、金の11時から12時です。
ながともクリニック	西区楠町7-1	045-314-0063	月、水、金の13時から15時	開始済	
医療法人社団 秀仁会 深作眼科	西区楠町5-1	予約受付一時中断中	予約受付一時中断中	開始済	9月のワクチン接種予約受付は終了いたしました。10月分のワクチン配分量が確定次第(9月下旬頃)
亀田病院	西区御所山町77番地	070-1062-9515	月曜日~金曜日 14時~15時	開始済	当院ホームページにて予約可否状況を早期掲示予定です。
青木小児科医院	西区境之谷73番地	045-231-4144	診療時間内	開始済	月、火、水の14時15分~15時で実施
つるおかクリニック	西区浅間町5-378-7	045-548-6601	休診日を除く14時半から17時まで	開始済	接種は土曜日の午後に実施しています
さいとう整形外科	西区浅間町4-347-4 Bay West101	045-312-6663	月曜日から土曜日 15時から16時まで	開始済	接種日は火・金・土14時から15時までに受付してください。
よこはま高島町クリニック	西区高島2丁目10-32	045-444-1117	水曜日を除く平日15時から17時まで	開始済	
スカイビル内科	西区高島2-19-12 スカイビル21階	045-461-1603	月曜日9:30-10:00、火曜日9:30-10:00	開始済	
横濱高島診療所	西区高島2-14-11第2田浦ビル6階	045-451-1717	木曜日を除く平日9時から15時まで(土曜日12時まで)	開始済	
諸星クリニック	西区中央1-4-9	045-321-0261	月曜日、火曜日、木曜日の13時から15時まで	開始済	
医療法人博友会 進藤医院	西区中央2-36-7	http://www.s-hakuyuuikai.or.jp/	窓口予約は9時~(予約多数時は抽選)	開始済	ワクチンの供給量わかり次第その都度予約。

医療機関名	住所	医療機関からのお知らせ			
		予約電話またはWebサイト	予約受付時間	予約開始日	備考
岡部医院	西区中央2-19-15	045-321-5703	月曜、火曜、金曜の16時から18時	開始済	現在予約受付は中止しています。再開は当院HPでお知らせします。
鈴木内科クリニック	西区戸部町5-204	045-231-3355	月～金8:30-11:30 月・水・金14:00-16:30	開始済	当院ホームページに予約可否状況をなるべく早期に掲示予定です。
渡邊醫院	西区西戸部町2-120	090-4169-3728	月・水・金曜日の14:30～15:00	開始済	7月枠は残りわずか 往診(西区内)優先
西戸部こどもクリニック	西区西戸部町2-174	045-260-1495	木曜日を除く平日13時から14時まで	開始済	接種は金曜日14:00-15:00 予約は7月30日以降
高島町しらゆり内科クリニック	西区花咲町6-143 横浜MIDベースアネックス2階	090-8225-7703	水曜日を除く平日13時15分から14時45分まで	開始済	クリニックの代表電話からは予約ができません。
生駒医院	西区東久保町35-20	045-231-5921	平日10時～12時 15時～17時	開始済	
横浜東口 中村クリニック	西区平沼1-2-23 中村ビル1F	045-534-8590	平日10時から12時まで	開始済	接種は金曜日午後を予定、日時は当院から指定いたします。
いちの内科クリニック	西区平沼1-2-12	045-314-1125	水曜日を除く平日午前10時から午後0時まで	開始済	接種は午前11時30分から午後0時30分で実施しています。
平沼橋こどもみらいクリニック	西区平沼2-3-1-102	https://mira-kuri.com/	WEB予約での対応となります。お電話でのご予約は不可。	開始済	ワクチンの予約はHP上で順次更新されますのでご確認ください。
コンフォート横浜クリニック	西区平沼2-8-25	045-620-2870	火曜～金曜 10時～16時30分(祝日、夏季休業期間等除く)	開始済	接種受付時間 8時45分～9時30分
香取耳鼻咽喉科	西区藤棚町1-95-1-101	045-350-8741	月火水金9:30～12:30、15:00～18:30	開始済	土9:30～14:00も予約可 予約は電話のみ
富田内科クリニック	西区藤棚町1-58-6	https://ssl.fdoc.jp/reserve/subjectlist/index/cid/x7807951?SITE_CODE=hp	ウェブでの予約のみです	開始済	接種は月・火・水・金曜日の17時から18時で実施しています。
中島整形外科	西区藤棚町1丁目120	https://ssl.fdoc.jp/reserve/subjectlist/index/cid/m6853763?SITE_CODE=hp	WEB予約での対応となります	開始済	
みなとみらい耳鼻咽喉科	西区みなとみらい4-7-1-2階	045-640-4114	木曜日を除く平日16時から17時、土曜日12時から13時	開始済	
横浜エムエムクリニック	西区みなとみらい3-3-1三菱重工横浜ビルジョッピングプラザ3階	https://select-type.com/rsv/?id=2i6WoAl-UJ9	ワクチン入荷数が確定後、毎週木曜日に予約枠を公開	開始済	コロナワクチン専用ダイヤル 045-225-9227
医療法人社団アスクレピオス ランドマーク横浜国際クリニック	西区みなとみらい2-2-1ランドマークプラザ1階	045-224-2111	8:30-12:00・13:00-17:00木午後、日祝除く	開始済	接種券が届いたらご予約のお電話を下さい
MMテラスクリニック	西区みなとみらい4-6-2みなとみらいグランドセントラルタワー2F	045-651-1113	平日10時から13時と15時から19時	開始済	
みなとみらい内科クリニック	西区みなとみらい4-7-1 2階G	https://minatomirai-naika.jp	ウェブ予約は24時間OK。電話予約は診察券のある方のみです。	開始済	電話予約の方は診察券をお手元に置いて、お話しください。
オーマイクリニック	西区南幸2丁目17-7ヴェルディ横浜ビル5F	045-594-8885	月～木 11時～20時 金～日:10時～19時	開始済	横浜駅前で、平日遅い時間や土日にも対応しています！
三ツ沢ハイタウンクリニック	西区宮ヶ谷25-2三ツ沢ハイタウン1-111	045-312-0290	月・水・金の13時～16時	開始済	接種は月・水・金14時～16時実施。小規模のため人数上限あり